参考様式B4（自己評価等関係）

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　3年4月26日　　事業所名　　凜　守山

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			玄関にスロープを置き、トイレに手すりを設置した。支援室・トイレには段差がなく車いすも問題なく入れる。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			申送り時に共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				結果を踏まえて、業務改善に繋げる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所玄関にも掲示している。	ホームページに公開している事を全職員にも伝える。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○			外部評価を行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎月実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			モニタリング時に保護者さまから聞き取りを行い、職員でケース会議をし作成を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			毎月実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			保護者さまのニーズに答え、クッキングが多い。 季節のイベント等も取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			週毎にプログラムを決め、休日・休暇時も様々な活動をし、課題を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		送迎後に時間がないため、翌日の申送時に実施している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6ヶ月に1回実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			複数組み合わせている。	偏りがないようにしたい。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			各学校引継ぎ時に情報交換をし、ホームページなどで行事の把握をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			契約時に病院・主治医をお聞きしている。提携医に掛かられている子どもがほとんどなので、連携が取れている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			昨年度新1年生の受け入れがなかったためしていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		療育において必要性があるならば検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	○				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			モニタリング時、保護者さまから相談があった際に実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		コロナウイルス感染対策のため、実施できない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○			個人が特定できる書類は施錠して保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			活動でキッチンカーに来ていただき、地域の方にも購入してもらえるようにした。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			消防署協力のもと、利用者も参加して地震体験を行った。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			申送り時に伝えている。	事例は作成しているが、回覧していても個々が見ているかは不明なため、確認が必要。

参考様式B3（自己評価等関係）

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表：令和　3年　4月26日

事業所名　凜守山　　保護者等数（児童数）　24人　　回収数　18　　割合　75　%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2		1		活動スペースは十分に確保できている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1		1	・職員の専門性がとても適切で満足している。 ・どの指導員が何の技能で関わってくださっているかわりづらい。	お便りにて今後発信していきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15			3		各部屋はバリヤフリーで、車いすが入りやすいように、玄関にスロープを設置し、トイレに手すりを設けました。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	2		1		保護者さまのご意見を取り入れながら計画を作成していきます。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	1		1	活動プログラムの多様化が考えられている。	今後より一層、プログラムを多様化します。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	6	6	2		療育の中で必要性があるならば、検討していきます。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1				契約時に説明はしていますが、分かりやすいよう発信します。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	2				連絡帳やメール、引継ぎ時にお伝えしています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1				半年に1回面談を実施している。また相談があった都度に助言を行っています。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	10	2	2	・コロナ渦であるため何とも言えない。 ・今年はコロナだったのでしかたない。	コロナが落ち着いたら考えていきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	3			・保護者からの要望に対して丁寧で迅速に対応して下さっている。 ・そもそも苦情に至ったことがない。	苦情やご意見などについては迅速に対処しているが、どちらでもないと思われている保護者さまもおられるため、今後もより適切に対応していきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	3		1		ホームページに毎週の活動報告を載せている。 自己評価の結果もホームページに載せ、事業所玄関にも掲示しています。

	14	個人情報に十分注意しているか	17	1				十分注意はしていますが、今後もより一層注意を払っていきます。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	4	1	2	契約時に説明を受けていたのかもしれませんが、年1回など定期的に発信してもらえると助かります。	マニュアルが分かるように保護者様に発信していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	2	1	2		半年に1回活動で実施しているが、保護者様にわかるように実施後に発信していきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18					子ども達や保護者様に満足して頂けるように、今後も努めます。
	18	事業所の支援に満足しているか	18				・祝日の利用ができるのと専門職員が携わってくださることがありがたい。 ・利用者の課題や取り組みのねらいが分かるとよい。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。